

**製品名: ETFA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82793**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ETF A
別名	EMA; GA2; MADD
遺伝子 ID	2108.0
SwissProt ID	P13804
免疫原	大腸菌で発現したヒト ETF A (AA: 134-333) の精製された組み換え断片。

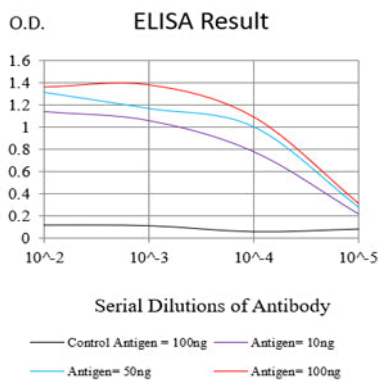
**背景**

ETF A は、ミトコンドリア脂肪酸  $\beta$  酸化の初期段階の触媒に関与する。一次フラビントタンパク質脱水素酵素と膜結合型電子伝達フラビントタンパク質ユビキノン酸化還元酵素の間で電子を輸送する。電子伝達フラビントタンパク質の欠損は、II 型グルタル酸尿症に関与する

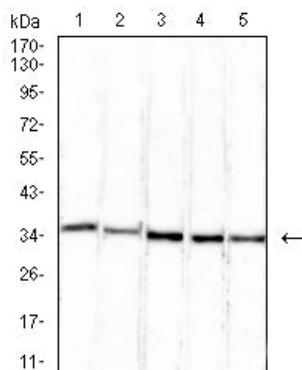
ことが示唆されている。II型グルタル酸尿症では、複数のアシル CoA 脱水素酵素の欠損により、グルタル酸、乳酸、エチルマロン酸、酪酸、イソ酪酸、2-メチル酪酸、イソ吉草酸が大量に排泄される。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

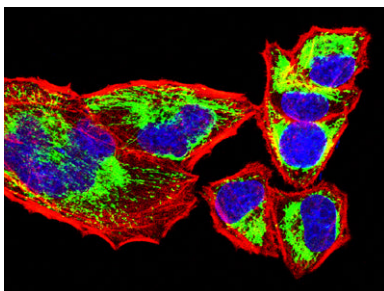
## 画像データ



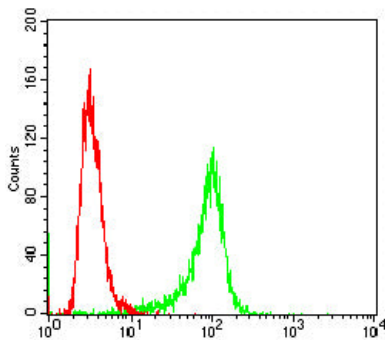
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



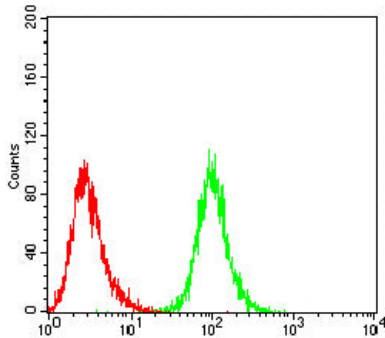
HepG2 (1) 、A431 (2) 、Hek293 (3) 、Hela (4) 、MCF-7 (5) 細胞溶解物に対する ETFA マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



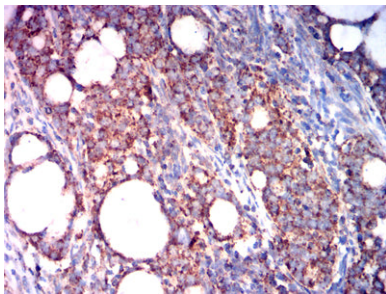
ETFA マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



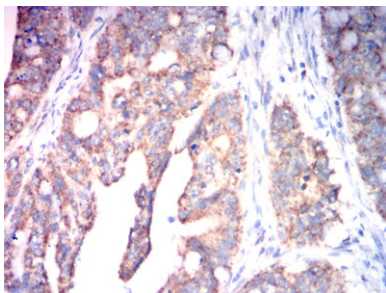
ETFA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



ETFA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



ETFA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



ETFA マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。